

青山の国語

配点 大問1 10点 大問2 10点 大問3 24点 大問4 34点 大問5 22点

2026年度試験問題

目標点 63点

設問ごとと分析

出題内容		難易度	配点	出題内容		難易度	配点
大問1	漢字の読み			大問4	論説文		
(1)	鑄造	A	2	問1	内容把握	A	4
(2)	卸す	B	2	問2	内容把握(抜き出し)	B	4
(3)	剝那	A	2	問3	内容把握	A	4
(4)	湯煎	B	2	問4	内容把握	B	4
(5)	双壁	A	2	問5	内容理解(15~20字)	C	6
大問2	漢字の書き			問6	200字作文	C	12
(1)	カンマツ	A	2				
(2)	リュクシキ	B	2	大問5	現古融合文		
(3)	トウロク	A	2	問1	内容把握(抜き出し)	B	5
(4)	シタ	A	2	問2	「軒並み」の説明	B	4
(5)	ソウイン	B	2	問3	内容把握	B	4
大問3	小説文			問4	内容把握(抜き出し)	B	5
問1	心情把握	A	4	問5	内容把握	B	4
問2	心情把握	C	4				
問3	心情把握	B	4				
問4	心情把握	B	4				
問5	表現の説明(12字抜き出し)	C	4				
問6	表現説明	C	4	※網掛けが濃い設問は記述の設問です。			

問題分析

1 漢字の読み 2 漢字の書き→自校作成校の中では一番易しい
3 小説文(約3500字) 4 論説文(約3800字) 5 現古融合文(約3600字)

講評

例年と出題形式はほぼ同じ。文章量は大問5で+1200字。
ただし、難易度は昨年とほぼ同じレベル。

1、2 書き 日常生活の中で目にする語句が多く、標準的な難易度
読み 標準レベルの語句が中心

3 小川国夫『試みの草』
駿河湾沿岸を舞台にした、馬子の父とその息子の物語。
現代風な文章ではないため、読書が苦手な生徒には読みづらく感じかもしれない。
レベルは昨年と同じか、やや難しくなった。

4 吉岡 洋『AIを美学する』
人間とAIについて述べた文章。AI関係は近年、出題数が多いので注意。
作文「技術と芸術活動とある筆者の考えで捉えた技術」と人とはどのように
付き合っていくべきか、生徒A～Eの会話も参考にしながら具体的な
自分の経験をもとにして、あなたの考えを200字以内で書け。

5 寺澤行忠『西行 歌と旅と人生』
西行の歌とそれを評価した藤原定家のやり取りに関する文章
現代語訳を参考にしながら、わからない語句は推測する力が必要。

青山の数学

配点 大問1 25点 大問2 25点 大問3 25点 大問4 25点(記述3題)

2026年度試験問題

目標点 62点

設問ごとと分析

[illegible]

問題分析

1 小問集+作図 2 関数 二次関数
3 平面図形 4 空間図形 (会話文形式→慣れること)

講評

難易度は昨年と同じくらい。会話文の問題は出題者の意図を読み取ることが大切。問題文の誘導に乗って解いていくことに慣れること。

- 1 例年通り小問5題の出題。難易度の差が大きい青山の数学では、この小問は全問得点したい。
- 2 題材は反比例だが、過去問しか学習していない生徒は戸惑ったかもしれない。「座標を文字で置く⇒方程式を作り、解を求める」が常套手段。典型的な問題が多いので、大問1同様、確実に得点したい。
- 3 平面図形。問2は青山高校特有の「選択肢から相似な三角形を選び、それを証明する」問題。今年は解きやすかった。問2(2)は難問。
- 4 空間図形。生徒の会話文で問題が構成されている。
問2は直前の問題文中のヒントを使えるかが得点できるかの分かれ目。

青山の英語

配点 大問1 20点 大問2 30点 大問3 34点 大問4 16点

2026年度試験問題

目標点 60点

設問ごとと分析

問題内容		難易度	配点	問題内容		難易度	配点
大問1	リスニング			大問3	長文読解		
問題A	対話文1 内容一致	A	4	問1	空所補充	A	4
	対話文2 内容一致	A	4	問2	適文補充	A	2
	対話文3 内容一致	A	4	問3	適文補充	B	2
問題B	Q1 内容一致	A	4	問4	内容把握(記述)	B	6
	Q2 内容一致記述	B	4	問5	内容一致(記述)	C	6
大問2	対話文読解			問6	適語補充	C	4
問1	語句整序	B	3	問7	内容把握(記述)	D	6
問2	内容把握(記述)	A	4	問8	内容一致	A	2
問3	語句整序	C	3	問9	内容一致	B	2
問4	内容把握(記述)	B	4	大問4	英作文		
問5	内容把握(記述)	B	6	問1	自由英作文(記述)	B	4
問6	文整序	C	3	問2-a	自由英作文(記述)	C	6
問7	空所補充	A	3	問2-b	自由英作文(記述)	C	6
問8	内容一致	A	4	※網掛けが濃い設問は記述の設問です。			

問題分析

1 リスニング 2 対話文(約1430語)
3 長文読解(約1620語) 4 英作文
※昨年度は出題形式が、大きく変更された。今年は昨年とほぼ同じ形式。

講評

難易度は昨年度とほぼ同じ。今年も大問4に英作文問題が独立して出題された。

単語を書かせる問題を含めると、全体の5割は記述式。

1 BのQ2の正答率が低い。複数形になかったミス、副詞の誤用などに注意。

2 「雪の下で貯蔵された野菜や果物」と「柑橘類を食べて育った魚」についての対話文。
本文の内容をしっかりと把握する必要がある設問が多い。

3 「学生時代の先生から学んだこと」についての読解問題
記述する問題では、単語数は多くないが、内容の理解や思考力が求められる設問のため、受験生は苦労したのではないかと推察される。

4 AIの活用をテーマにした英作文。
家庭学習においてAIを活用するメリット・デメリットについてを記述するもの。
否定的なことも英語で書けるように練習しておくこと。

2026目標点 英数国185+理社165=350
目標内申 61/65

難易度の標記

A: 易しい (全問正解したい) 目安→正答率80%以上
B: 標準 (落とせない) 目安→正答率79~60%
C: やや難問 (可否を分ける問題) 目安→正答率59~40%
D: 難問 (1問でも出来れば良い) 目安→正答率39~11%
E: 超難問 (できなくても構わない) 目安→正答率10%以下